

至成田

国道51号バイパス 至水戸

JR鹿島線 → 至鹿島サッカースタジアム駅(臨時) 至水戸へ

ようこそ鹿島神宮へ

至JR鹿島神宮駅へ

塚原ト伝像
JR鹿島神宮駅へ親子鹿像
「おつみ」

参拝者駐車場

大 型 700円
マイクロバス 500円
普通車 300円

バス停留所「鹿島神宮」へ

●祈禱受付
午前8時半～午後4時半
(30分毎に奉仕)

神宮境内を無料で案内
してくれるボランティアガイド。毎日9時～
11時30分の受付。

かしま
ふるさとガイド

弓道場

手水舎

祖霊社

御厨社

武徳殿

参集殿

祈禱殿

社務所

宝物館

坂戸社・沼尾社
遥拝所

津東西社

祝詞社

熊野社

藤棚

手水舎

楼門

国宝の直刀などが拝観できる

WC

仮殿

高房社

宝庫

幣殿

石の間

三笠社

本殿

授与所

拝殿

二郎杉

神庫

神木「杉」

鏡石

寛永11年(1634)、徳川頼房公が奉納した
この門は「日本三大楼門」の一つ。緑の中
にひととき朱色があざやかです。

20万坪におよぶ神宮の森は植物の宝
庫。800種を超える草木が繁茂し、
照葉樹林の北限としても貴重。

当神宮の社殿はその昔伊勢の神宮のよう
に20年ごとに造営が行われていたが、現
在の社殿は元和5年(1619)二代将軍徳川
秀忠公により奉納された

鹿島神宮周辺の森には、
かつては多くの鹿が棲息
していた。その歴史を伝
える二ホンジカが飼育さ
れている。

親鸞上人旧跡
売店

さざれ石

奥参道

「あづまを桜」碑

1687年(貞享4)の『鹿島詣』
の旅で参宮した折り詠んだ
「此の松の実生えせし代や
神の秋」を刻む。句碑は1766
年(明和3)の建立。

芭蕉句碑

熱田社

慶長10年(1605)将軍徳川
家康公が本殿として奉納さ
れたものを元和の造営の際
に引き移したものの。

東雄桜

「枯枝に鴉(からす)の
とまりけり穠(あき)の暮」
を刻む。

安永五年銘の石塔

芭蕉句碑

要石

頭頂部だけがわずかに露出している霊石。鹿島神宮の
大神が降臨した御座とも、地震を起こす大鯰の頭をお
さえている鎮石ともいわれる。徳川光圀の『水戸黄門
仁徳録』には、家来に掘らせてみたがあまりに巨大で
「七日七夜掘っても掘りきれず」との記述がある。

古くからの禊の場。
1日400kl以上の清水
が涌出し、持ち帰る
こともできる。周辺
は神宮の園地になっ
ている。

御手洗池

涌水口

売店

藤棚

大国社

東屋

鹿島神宮園地
御手洗公園

鹿島神宮社務所 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中2306-1 TEL 0299-82-1209
宝物館拝観料 午前9時～午後4時 大人300円 中学生以下100円